

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（1月定例会）会議録
開催日時	平成31年1月24日（木）午後2時30分から午後4時30分まで
開催場所	保谷庁舎3階 第2会議室
出席者	委員：服部議長、攝賀副議長、岩崎委員、内田委員、木下委員、 沼本委員、長谷川委員、原委員、原田委員、矢野（真）委員 事務局：堀主幹、青木主事
議題	(1) 社会教育行政の運営体制等の見直しについて (2) その他
配付資料	資料1 起草委員会における検討メモ 資料2 西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (平成27年度～平成31年度) (概要版) 資料3-1 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興 方策について(答申)本文 資料3-2 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興 方策について(答申)概要 資料3-3 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興 方策について(答申)附属資料(1/2) 資料3-4 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興 方策について(答申)附属資料(2/2)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成30年12月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>(1) 社会教育行政の運営体制等の見直しについて</p> <p>○議長：1月に2回、起草委員会を開催した。 前回の社会教育委員の会議にて行ったワークショップでの意見を踏まえ、提言書の構成案及び提言に盛り込みたいキーワードについて検討を行った。 まずは、提言書に落とし込みたいキーワードとして、追加等あればお願いしたい。</p> <p>○議長：前回の提言から今回提言を行うにあたっての変化として、子ども条例については触れておきたい。 また、この先行われる「社会教育士」の創設についても変化の一つである。 社会教育士については、もう一度立場や役割も含めて、説明をお願いしたい。</p>	

- 委員：現在の社会教育主事講習からの科目の変化としては、「社会教育計画」に代わり「生涯学習支援論」、「社会教育特講」に代わり「社会教育経営論」となることが挙げられる。「生涯学習支援論」は、ファシリテート機能など、学習支援に必要な技能を習得するためのものである。「社会教育経営論」では、特に広報・広聴の体制づくりについて強調される予定である。  
また、社会教育士は資格ではなく称号であるため、ターゲットは幅広く設定されているが実際どれだけニーズがあるかは懸念されているところである。今後、社会教育士がどのように機能していくかは、引き続き動向を見守る必要がある。
- 委員：現状、一教育委員会あたり社会教育主事はどれほど配置されているのか。
- 委員：社会教育に力を入れている地域であっても、1人配置されていれば積極的であると判断できると思う。
- 委員：社会教育士に求められる主な職務・スキルは何か。
- 委員：一般的には社会教育に関する計画の立案・推進が中心と考える。  
そこにコーディネーターやファシリテーターなど、人を繋ぐ力も求められている。
- 委員：提言書の基本的な構成案における「2 今後の施策の方向」については、西東京市の地域性を踏まえた上で社会教育行政のあり方をまとめた方が良いと考える。また、前回の提言でも述べた、組織の改編は必要なのではないか。
- 委員：世の中の流れが急激に変わっていく中で、社会教育のあり方について柔軟に考えて良いと考える。そのような視点で議論を深め、西東京の社会教育行政のあり方について提言をまとめることができればと思う。
- 議長：今後の社会教育行政に求められるものについて、何か意見はあるか。
- 委員：生涯学習は自発的な学びであり、行政は場の提供を行うのみであると言われてしている。しかしそれでは自発的に学ぼうとする気持ちを持っていない人は、社会・地域から取り残されてしまう。そのような人を学習の場に取り込むことが社会教育の一つの役割であると考えます。地域をつくる礎になり得るのは、地域の学びではないか。
- 委員：西東京市は健康応援都市として力を入れていることから、健康寿命の延伸と社会教育との関連性については提言内で触れておきたい。
- 委員：ある地域では健康長寿の取組として、図書館が高齢者の学習サークルに対して場所を提供していると聞いている。

- 委員：現在、「学びの機会提供」については、社会教育の分野だけでなく、全庁的に行われている。現場の各課は課題意識を持って取り組んでいるため、社会教育行政がそれを支援できるような仕組みづくりができると良いのではないかな。
- 委員：現役で子育てや仕事をしている若い世代だけでなく、今の子どもたちが地域と関わって学ぶことができるようなきっかけづくりも必要であると思う。多世代が参加するようなワークショップを経験した子どもたちは、自身が大人になった際に地域に戻って還元してくれるのではないかな。
- 議長：ライフステージに合った学習の場が提供できる仕組みづくりは理想である。
- 委員：地域と学校についても地域学校協働活動に向けた仕組みづくりが求められているため、盛り込んだ方が良いと思う。
- 議長：皆さんの意見を踏まえて、起草委員会で検討し、2月の社会教育委員の会議にて提言のまとめに向けて何かしらの文案を示すことができるよう、進めていきたい。

## (2) その他

### ※年度内の会議スケジュールについて

- ・2月7日（木）、2月21日（木）
- （2月21日（木）のみ13時30分開始予定）

※次回会議 2月7日（木）午後2時  
保谷庁舎2階 会議室